

令和7年度
介護労働講習（実務者研修を含む）

実施期間 6月17日～11月25日



～私たちは介護のプロを応援します～

(公財) 介護労働安定センター
秋田支部



修了おめでとうございます



修了者へ贈る言葉

受講者の皆様、介護労働講習修了おめでとうございます。

これまで6ヶ月間の長い講習を修了するという事は、皆さん一人ひとりが一生懸命努力した成果であるとともに、一緒に学んだ仲間が存在が大きかったのではないかと考えております。

今年度も、昨年度に引き続き42名の受講者をお迎えし、皆様のご協力のおかげで何とか本日の修了式を迎えることができました。また、大人数にもかかわらず、大部分の皆様が真面目で真摯に授業に取り組んでいただいたと感じております。これから就職後に大事なことは、一人の力ではなく介護の仕事はチームワークで切り抜けることが多い仕事です。また、そのためにはコミュニケーションによる意思疎通が非常に大事であり、このコミュニケーションとチームワークの大切さをこの講習で学んだ方は、就職先でその成果を実践していただき、その部分に自信のない方は、是非、就職先でより多くの仲間から、今一度理解し学んで、自らも率先して助け合って、利用者様からも喜ばれる支援をしていただけたらと思います。

どうか皆様、この介護労働講習で学んだことを活かし、これから様々な職場に就職され、更に新しい技術や知識を吸収するとともに、いろいろな対応を求められることもあると思いますが、迷った時は周囲に相談したり、今回の仲間にも声をかけたりしながら仕事に励むとともに、当センターにも遠慮なく声をかけいただき、いつでもご相談に来ていただけたらと考えております。

また、それと合わせ修了者の皆様を対象に、「修了生ネットワーク」に登録されることにより、各種講習やセミナー等の情報を提供することが可能となっておりますので、是非、ご登録し利用いただき、今後もますます、秋田県の介護分野等で活躍されることを願いながら、皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

あわせて、本日の修了を、センター職員一同、心よりお慶び申し上げますとともに、これからも皆様を応援し続けます。

秋田支部職員一同



講習風景



開講式



迎えた開講式。
今日から介護のプロへの第一歩!!
緊張しながらも、ちょっとワクワク…。



生活支援技術

真剣に講習に取り組む姿勢…。
介護技術もぐんぐん成長中!!



医療的ケア演習



心肺蘇生法や喀痰吸引・経管栄養を学びました。
それぞれ工夫しながらその手順を覚えました。





講習風景



実践講習



実践講習では、実際に機械を搬入し訪問入浴の流れを学びました。



就職面接会

未来への一歩に向けた情報収集。
就職活動も真剣に取り組みました。



レクリエーション技術



レクリエーション技術はいつも和気あいあい。。。
受講者同士の「絆」が深まるひと時です!!



講習を終えて

今年も多くの受講者が講習を修了し、それぞれの道へ進んでいきました。
修了者の感想をご紹介します。

介護労働安定センターの職員の方々が受講者に親身になって丁寧に対応してくださった事で、色々な面で勉強になり、ありがたいと感じました。

6ヶ月間でしたが、とても良い経験となりました。
ありがとうございました。

介護の仕事に携わったことがない私にとって、実技や現場実習を経験できたことで、より一層介護職の理解を深める事ができました。

大変充実した受講期間を過ごせたことに感謝いたします。

思っていた以上に充実していてとても勉強になりました。授業は教科書の内容以外、講師の方々の経験の中から、教えていただいた事もたくさんの学びとなり、講習全体の流れもよかったです。

この学びを活かして介護の仕事を頑張りたいと思います。

年齢的に学ぶことに対し億劫になりがちでしたが、教室という「行き場所」があるだけで毎日楽しく学ぶことができました。

今後は介護の現場で、利用者さんへ元気を与える立場になれるよう邁進していきたいと考えております。

一人で受講する（個人）辛さを軽減し、共に学ぶ環境の中に身を置くことができ本当に良い経験・良い思い出となりました。

全てに関与して下さった方々に心から感謝致します。

一緒に勉強していく中で友達も増え、はじめは長いと思った6ヶ月も気づけば修了。

楽しく充実した時間を過ごせたことに職員の方々へ感謝申し上げます。ありがとうございました。

就職先を訪ねて

渡部 ルリ子 さん

令和7年度修了者



介護労働講習で学んだことは？

高齢者や心身の障がいで、日常の生活を自力で送ることが難しくなった人に、その能力に応じて「自立したその人らしい」生活が送れるよう支援することが「介護」であるということです。すべて整えて提示することではなく、どうしたら楽しく、穏やかに、幸せな生活が送れるかを一緒に考え、寄り添うことが大切なのだということを学びました。

実際に介護の仕事に就かれた感想は？

講習が終わってすぐ、障害児通所支援を提供する事業所で児童支援員をしています。主な対象者は就学前～中学生です。一人ひとり個性があり、特性があるお子さんと接すること、新たな未知に出会えること、そのことで意識の幅が広がり、経験も豊かになっていく実感があります。

日々行っている「運動療育」にも興味があり、知識を深めたいと思っていたので、今はインプットを毎日行っている状況です。

講習内容などについてのご感想は？

「介護の基本」を学びたいと思ったことが、講習を受けたきっかけでした。家族に介護を必要とする祖父母がいたこともあり、ゼロからのスタートではなかったですが、介護・医療的ケア・障害者支援・社会保障など、様々な介護に関わる歴史や政治的な背景を学びました。実際、介護技術を学ぶ機会があり、特に医療的ケアでは喀痰吸引や経管栄養の手技を緊張感のある中、仲間と励まし合いながら学べました。また、就職活動の進め方、履歴書の書き方についても教えていただき、仕事を始めるイメージができ、選択肢も広がりました。

これから受講される方へメッセージをお願いします

介護労働講習目的は、第一に資格を取り、その後の就職につなげることです。

それだけでなく、一緒に学んだ仲間と悩み、もがきながら試験に合格した時の喜びや仕事や生き方についても共有しあえることです。そして、職員の方からの情報提供や前を向ける言葉をいただき、その心強さに支えられ、半年を送ることができました。

まだ見たことのない自分の可能性に気付ける場所でもあります。

多くの方が良い出会いに巡りあえることを願っております。



事業主さまから一言

社会福祉法人本荘久寿会
サポートベースブルーミー
管理者兼サービス管理責任者 竹村 政幸 さん



写真右/サポートベースブルーミー管理者 竹村政幸さん
写真左/令和7年度修了者 渡部リ子さん

普段の仕事ぶりはいかがですか？

渡部さんは、元気いっぱいの子どもたちとの活動に自ら率先して関わり、常に明るい雰囲気をもたらしてくれます。状況に応じた程よい話し方の使い分けができるため支援を受ける子供たちだけでなく、共に働く職員たちに対しても、前向きな雰囲気と安心感を与えます。

支援業務については、習得意欲が非常に高く、単に業務をこなすだけでなく、その質の向上を目指して継続的な努力を怠りません。どんな業務にも積極的に関わり、果敢に挑戦する姿勢は、仲間の職員にとって良き模範となっています。さらに放課後等、デイサービスや児童発達支援の支援内容について、より良いあり方を自ら学び、深く模索するという真面目な一面も兼ね備えています。その高い意欲と積極性から、将来的に当法人の障害福祉部門に留まらず、地域の障害福祉分野において大きく活躍できる人物になるだろうと、期待を抱かせてくれる存在です。

これから受講される方へメッセージをお願いします

「介護福祉士」という仕事は、単なる生活援助に留まりません。それは、利用者ひとりひとりの幸福実現を支援する、とても意義深く価値ある仕事です。

介護福祉士としての専門知識と温かい心は、利用者様が抱く「自分らしく生きたい」という願いを実現するための確かな力となります。その人らしい生き方を深く理解し、尊厳を守りながら支えること。その積み重ねこそが、利用者様の人生に明るい希望をもたらします。また、介護に携わる方は利用者様の安心できる日々を紡ぐ担い手でもあります。

不安を和らげる笑顔、寄り添う傾聴の姿勢、そして確かな技術。これらが組み合わさることで、利用者様とご家族にかけがえのない安心感が生まれます。

この道を選ぶことは、人として大きく成長し、社会に貢献できる素晴らしい機会だと思います。